

フルーティまさお

かんたん操作ガイド

この「かんたん操作ガイド」は「フルーティまさお」について
簡単にお知らせする為のものです

本製品をご使用になる前に必ず「取扱説明書」を読み理解された上で正しい取り扱いをして下さい



安全な作業のために

■正しい服装と保護具

運転・作業にふさわしい服を着用し、軽装やサンダル履き等で運転・作業をしないで下さい。



■始業点検 ※「取扱説明書」P17～21を参照

運転の前に必ず始業点検を行い、異常箇所はただちに補修して下さい。また、車両に堆積した草等はきれいに取り除いて下さい。火災のおそれがあります。



「エンジン取扱説明書」も合わせてお読み下さい。

本製品は草刈作業車です。草刈作業以外の用途には使用しないで下さい。

本製品は公道及び公道とみなされる道路での運転は出来ません。

本製品に添付されている警告ラベルの指示に従い禁止事項は絶対に行なわないで下さい。

【燃料の点検と補給】
燃料計で燃料を確認し、不足している場合は燃料キャップを開けて燃料を補給します。

使用燃料：自動車用無鉛ガソリン
燃料タンク容量：18.0ℓ



GANYCOM

キャニコム

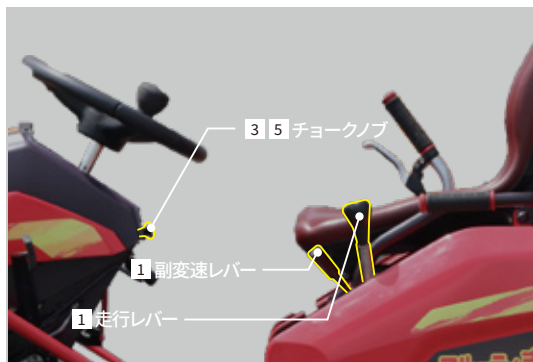
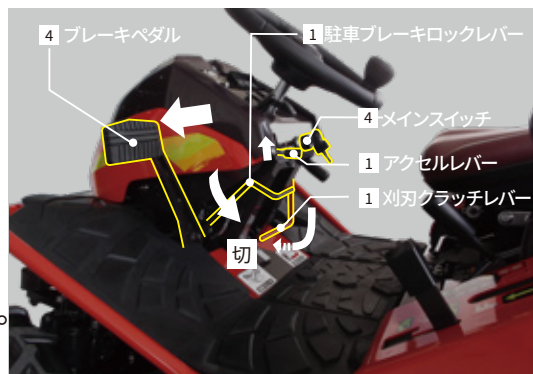
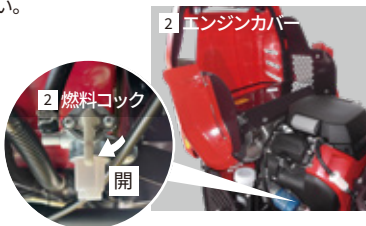
1 始動・運転・駐停車

始動

※「取扱説明書」P22～25を参照

⚠ 始動は必ず乗車して行って下さい。

- 刈刃クラッチレバーは[切]。
副変速レバーは[●中立]。
アクセルレバーを[🐢 低速]に
走行レバーが中立位置になっているかそれぞれ確認します。
- エンジンカバーを開け燃料コックを開いてカバーを閉じます。
- チョークノブを手前に引きます。
- メインスイッチにキーを差し込み、
ブレーキペダルを踏み込みながら[始動]まで回して
エンジンを始動します。
- チョークノブを元の位置まで押し込みます。
※その他、通常走行ではデフロックは[切]にして下さい。



運転

※「取扱説明書」P26～27を参照

⚠ 運転時は本製品の周辺に人を近づけないで下さい。

- 周囲の安全を確認して下さい。
- 副変速レバーを[移動]または[作業]にします。
- アクセルレバーを[🐇 高速]にしエンジンの回転数を上げます。
- ブレーキペダルを踏み込み駐車ブレーキロックレバーを解除します。
- 走行レバー (又は走行ペダル) を操作して走行します。

※走行ペダルと走行レバーは同時に操作しないで下さい。

※作業をする場合は、副変速レバーを[移動]に入れないでください。



駐停車

※「取扱説明書」P28・P32～33を参照

⚠ 燃えやすいものの近くには停止しないで下さい。

- 走行レバー (又は走行ペダル) を中立位置に戻し速度を落とします。
※走行ペダルの場合は足を離すと自動的に中立に戻ります。
- ブレーキペダルを踏み込んで完全に停止します。
※ブレーキペダルを踏み込むと走行レバーが「●中立」になります。
※ブレーキペダルを踏み込み、駐車ブレーキロックレバーを手前に引いてブレーキペダルをロックします。
- アクセルレバーを[🐢 低速]にしてエンジンの回転数を下げ、
メインスイッチを「切」にしてエンジンを停止します。



2 作業


作業
警告ブザー

アフメータ操作
刈刃交換

作業

※「取扱説明書」P34～38を参照

- ⚠ 作業前に刈刃の点検を行って下さい。
- ⚠ 点検はエンジンが切れていることを確認して行ってください。

- 1 刈刃カバーが閉じている事を確認します。
 - 2 アクセルレバーを「 高速」にします。
 - 3 副変速レバーを[作業]にします。
 - 4 刈高さ調節レバーを最高の位置に動かします。
 - 5 刈刃クラッチレバーを[入]にして刈刃を回転させます。
※刈刃回転中に座席を離れると安全装置が作動してエンジンが停止します。
 - 6 刈高さ調節レバーを任意の位置に動かします。
※刈高さ調節ロックを握ったまま、刈高さ調節ハンドルを動かします。
※刈高さ下限設定レバーで下限位置を設定できます。
 - 7 走行レバー（又は走行ペダル）を操作して作業します。
※走行ペダルと走行レバーは同時に操作しないで下さい。
-
- 8 刈刃を停止する時は刈刃クラッチレバーを[切]にして、刈刃を停止します。
※停止直後は刈刃が慣性で回転しますので、ご注意ください。
 - 9 刈高さ調節レバーを最高位置にします。



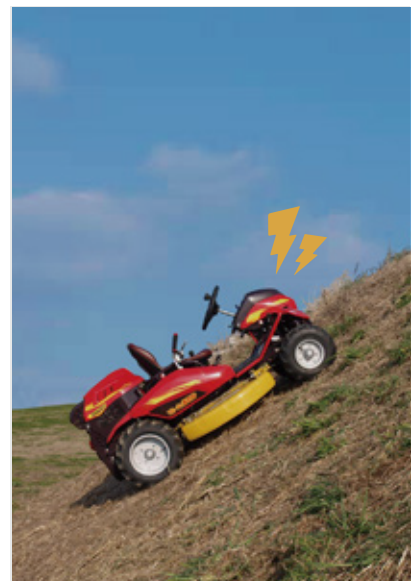
警告ブザーについて

※「取扱説明書」P40を参照

■本機は下の条件でブザー吹鳴します。

ブザー音	条件	処置
1回周期で吹鳴 (ビッービッービッ)	車体角度が15度以上を検知	平坦地へ移動する
2回周期で吹鳴 (ビビッービビッ)	燃料残量低下	補給する
3回周期で吹鳴 (ビビビッービビビッ)	バッテリー電圧低下	バッテリー液を補充する バッテリーを充電する バッテリーを交換する
4回周期で吹鳴 (ビビビビッービビビビッ)	バッテリー電圧検出回路異常	販売店へお問い合わせください
高速連続で吹鳴	車体角度が23度以上を検知	平坦地へ移動する

※高速走行時に急カーブする場合も、ブザーが鳴ります。



- ⚠ 高速連続で吹鳴した場合は、危険ですので速やかに平坦地へ移動してください。

2 作業

作業
警告ブザー

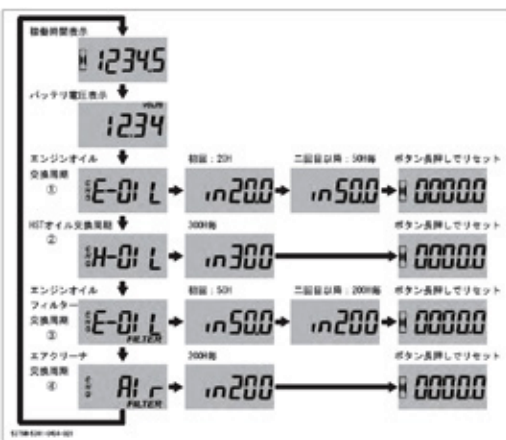
アワメータ操作
刈刃交換

アワメータ操作

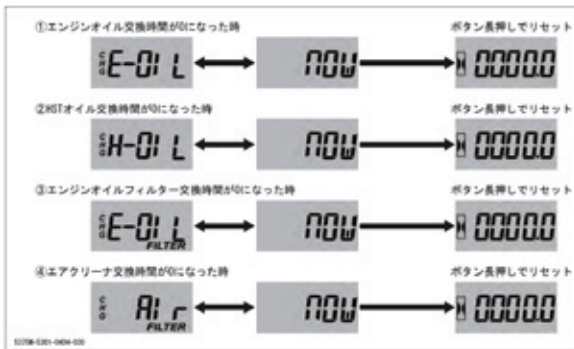
※「取扱説明書」P41～43を参照

- 1 ボタンを押すと画面を切り替えることができます。
- 2 図の順番で表示が変わります。
- 3 交換時間が残り0になると、メンテナンス画面に「NOW」と表示されます。
- 4 ボタンを長押しすると、メンテナンス時期の残り時間がリセットされます。

2 アワメータ表示



3 4 メンテナンス画面通知



刈刃交換

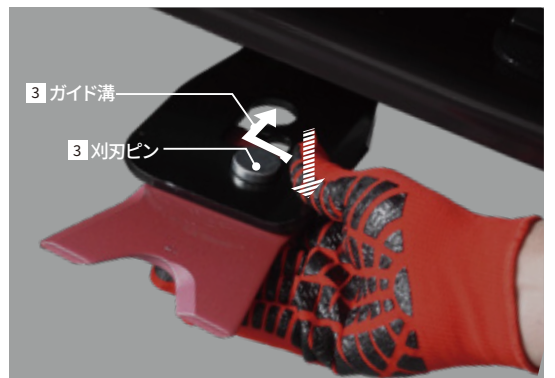
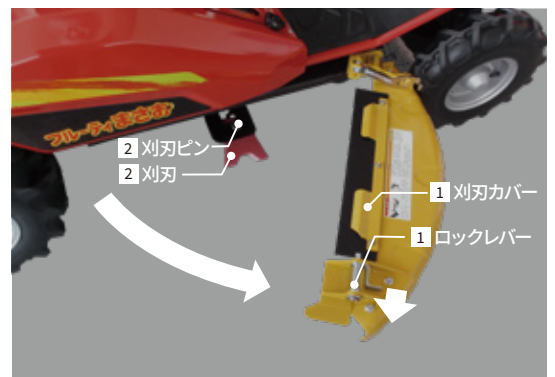
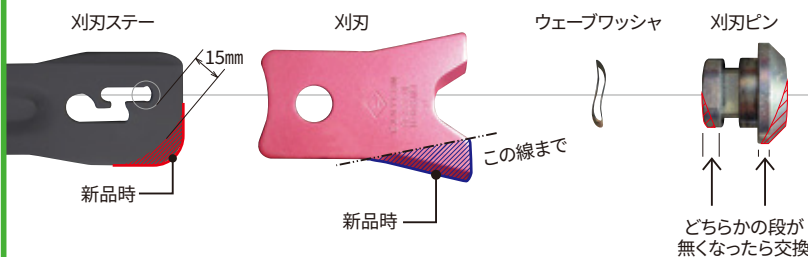
※「取扱説明書」P39・57・68～70を参照

⚠ 刈刃は必ず厚い手袋を着用し慎重に取り扱って下さい。

- 1 刈刃カバーのロックレバーを押して横に開きます。
- 2 刈刃・刈刃ピンを点検します。通常摩耗の場合は、刈刃を裏返し刈刃ピンを180°回して使用します。刈刃の両縁、刈刃ピンの全周が摩耗した時は交換します。他異常・破損等がある場合も交換して下さい。
※刈刃を交換する場合は2枚とも交換して下さい。回転バランスがくずれ故障の原因になります。又、刈刃ピンとウェーブワッシャも必ず新品に交換して下さい。
- 3 刈刃ピンをガイド溝にそって刈刃を取り外し交換します。

【摩耗限度】

刈 刃：刃の端からVカットの頂点を結ぶ線まで。
刈刃ピン：どちらかの段がなくなるまで。



3 お手入れ

通常使用後のお手入れ
刈取装置の清掃

エアクリーナ清掃
エンジンオイル点検

通常使用後のお手入れ



※「取扱説明書」P79～81を参照

- ▲ エンジンが停止していることを確認してください。
- ▲ エンジンや操作パネルの水洗いはしないで下さい。水の浸入による故障や錆び付きの恐れがあります。
- 1 車両に堆積した草や付着した泥等を取り除きます。
- 2 刈取装置の清掃を行ないます。
- 3 刈刃や刈刃ピンに付着した泥等を取り除き、刈刃が軽く回る事を確認します。
- 4 屋外で保管する場合はエンジンが十分冷えてから防水カバー等をかけて保管します。

刈取装置の清掃

※「取扱説明書」P79を参照

▲ 刈刃の回転中に刈刃カバーの下に手足を入れしないで下さい。

- 1 車両を駐車して刈高さ50mmに設定します。
- 2 ホース接続部にホースを取り付け水を流します。
- 3 アクセルレバーを「 高速」にします。
- 4 刈刃クラッチを[入]にして刈刃を回転させ刈取装置内を清掃します。
- 5 清掃が終わったら刈刃クラッチを[切]にして、刈刃を停止します。
- 6 刈高さを最高位置にします。
- 7 アクセルレバーを「 低速」にして、エンジンを停止します。
- 8 水を止めホースを取り外します。



エアクリーナ清掃

※「取扱説明書」P60を参照
※「エンジン取扱説明書」P12を参照

▲ エLEMENTの汚れがひどくなるとエンジンの始動不良・出力不足・寿命低下を引き起こします。

- 1 エンジンカバーを開けます。
- 2 エアクリーナカバーを開け、ノブを回しELEMENT(ウレタン付)を外します。
- 3 「エンジン取扱説明書」の指示に従って、エアクリーナELEMENTの清掃・交換を行います。
- 4 エンジンカバーを閉めます。



エンジンオイル点検

※「取扱説明書」P58・59を参照

▲ 補給がおろそかになるとエンジン故障の原因となります。

- A オイルレベルゲージを取り外しオイルを拭き取り、再度取り付け取り外します。
- B オイル量が上限と下限の間にあることを確認します。下限より少ない場合は補給します。
- C オイルの汚れ・粘度を目視点検し、汚れがひどい場合・粘度が不良の場合は交換します。

